

登小だより



文月号



登立小HP

文責 校長 田崎正明

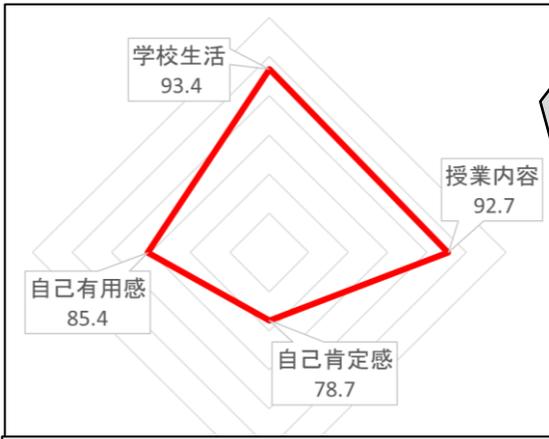
一学期を終業しました

ご支援、心より感謝いたします

長雨の合間には蝉の声が聞こえてきます。真つ青な空に力強い入道雲が映える盛夏もすぐそこに来ているようです。本日、一学期を終業しました。大きな事故の発生もなく、全員、元気に、豊かに学校生活を送ることができました。これから長い夏休みに入りませんが、健康を保ち、自分の命を自らの力で守ることが出来る子供たちであることを願います。ひと夏を越え、一回り遅くなった姿を期待したいと思えます。さて、本年度、子供たちとともに展開しています「のびっ子笑顔大作戦」ですが、学期末を迎え、子供たちの姿に感心させられ、また、感動を覚えることが多くあります。その一つに「朝の声」があります。朝の声とは、元気に響き渡るあいさつの声です。職員室前を通る子供たちのそれぞれの声、昇降口前で、整列して班長さんの号令で始まる揃った声、その時々で子供たちの表情はそれぞれですが、学校生活において、スイッチが切り替わっているように感じます。私たちは、その姿に接するたびに気持ちが高揚し、活力がみなぎります。この朝の声は、下校時にも良い効果を与えています。子供たち同士があいさつを交わす姿が見られます。「じゃあね。また明日。」「先生方、さようなら。」など、高い相手意識が感じられます。子供たちは、登校・下校、すなわち「出会いと別れ」の両方に「期待と希望」「喜び、安心」を感じているようです。あいさつを通して人間関係が深まっています。今後より一層深めていきたい活動です。二つ目が「自治の心」です。五、六年生が中心と

なつて学校生活を工夫してくれています。委員会活動や日常生活の中で異学年の交流が進んでいます。関わることで、仲間意識が高まり、その結果、笑顔があふれるのびっ子になっていきます。五、六年生のアイデア・行動力、やさしさに感動し、また、そんな子供たちを誇りに思います。「笑顔」は、登立小の教育成果であると位置づけています。その兆しが実感できた一学期でした。一年の三分の一が終わりになりました。あつという間でしたが、のびっ子は、自らあゆみを進め、学びを深めています。今学期の成長を二学期につなげ、より高い自律の姿を目指していきたいと思えます。梅雨明けとともに猛暑、酷暑となりそうです。皆様方、ご自愛ください。二学期もよろしくお願いいたします。

学校生活への意識調査の結果



- 他の項目と比べ自己肯定感が低い状況が見られました。
- 自分への満足度を高めるために、まず不安や劣等感を解消できるように、「できる」を実感させていきたいと考えます。
- 他と比較するのではなく、自己の目標の達成に向かう姿勢をしっかりと評価し、支援していきます。

教えるときに(指導のポイント)

「なぜ鉛筆を正しく持たなければならないのか」を例に

書く時の姿勢や鉛筆の正しい持ち方を行うことは、読みやすく、整った文字を効率よく書くために必要なことです。

○正しい姿勢とは

正しい姿勢のためには、背筋を伸ばした状態で体を安定させたり、書く位置と目の距離を適度にとったり、鉛筆を持ったときに筆先が見えるようにすることが重要です。

○正しい持ち方とは

正しい持ち方をするためには人差し指と親指と中指の位置手首の状態や鉛筆の軸の角度などを適切にすることが重要です。



※「姿勢」と「持ち方」は関係しています。持ち方が崩れると姿勢が崩れます。書く姿勢だけに気をつけるのではなく、鉛筆の持ち方を正しく、正しい姿勢で書くように注意することが重要です。

- ①方法(ポイント)等、具体を示す(すぐ出来るために)
- ②関係性を示す(視点を与え、理解を促すために)
- ③成果を示す(実践意欲を高めるために)

つながりを築き深め合う登立のPTA

「協働でのびっ子の健全育成を」「行事、会合へ進んで参加を」「相互の調和と親睦を」「あいさつの充実を」「ルール、規則の遵守を」の5つを目標に進み続ける本校PTAは、すべてを子供たちに注ぎ、学校教育への協力・支援を常として活動が展開されています。先日は救命救急講習会が主催され、100名を超える方々が参加されました。すべての方々の命を尊ぶ心の高まりを感じました。安心安全を担保し、命を守る学び舎の実現は何よりも優先される教育活動であると考えます。我々教職員は、皆様方の思いを全身で受け止め、その期待に応えるべく、教育活動に邁進いたします。6月には本校PTA活動が高い評価を受け、熊本県PTA団体表彰を受けました。創立150周年記念活動を核とした本校PTA活動の勢いと成果が高く評価された結果であり、感激とともに諸先輩方のご努力に深く感謝の念を抱きます。また本年度は「親子ふれあいデー活動推進団体」にも委嘱を受け、自然、友達、地域との人間関係づくりを進めることにもなっています。知恵、力、心を合わせて、本年度の活動がより深まり、のびっ子の生きる力の育成を支援できますことを心より願っています。



あしがき

相田みつをのご子息であり、現在、美術館の館長である相田一人さんの対談記事を読んだことがありました。その中で、「うつくしいものを美しいと思える あなたのところがうつくしい」という相田みつをの作品の意味について語っていらっしゃいました。興味深く感じましたので掲載します。

美しい風景でも音楽でも絵でも映画でも何でもいいのだが、きれいなもの美しいものを見たときに「ああ、きれいだな」と素直に感動できる心。これが美しいものを美しいと思える心のことである。美しいものに素直に感動できる心というのは、反対側から言うと、悪いこと、いけないこと間違っていること、そういうものを見たり聞いたりしたときに、これはおかしいと分かること。では、どうしたら子供の心の中に美しいものに感動する心が芽生えるのか。まず、大人が感動しないと駄目だ。大人が感動すると、その感動は必ず子供に伝わっていく。だから教師が感動すると、その感動は子供に伝わって、それが成長するにいたがって美しいものを美しいと思える心が育っていく。(「学校の先生方に期待するもの」※一部改訂) 2学期も、感動する心を大切に、感動のある教育活動の展開に全力をつくしていきたいと思えます。

「星に願いを」七夕飾りに寄せた子供たちの願いは、自己実現よりも、友達や家族、自然、世界に関するものがほとんどで、幸福や平和を願うものばかりでした。優しく、相手意識の高いのびっ子たちです。その心の美しさに感動した時間でした。のびっ子の願いが実現する社会を築いていきたいものです。



のびっ子のかがやき

授業参観

授業参観を実施し、子供たちも朝から気持ちが高まり、とても元気でした。蒸し暑い時間帯でしたが、たくさんの保護者の方々がご来校になり、学校生活の成果をご確認いただきました。いただきましたご意見につきましては、今後の教育改善につなげていきます。ご来校、ありがとうございました。



かがやき

のびっ子の豊かな心が地域でも輝いています。大切に、もっと磨きたい行いです。



松岡りせさん・片山ななせさん・平山あいらさん

児童の演奏会
自主性に感心
切通子師子踊り
(上草市)
近所の女の子たちが、リコーダーの練習をしたので誰かに聴いてもらいたいという。民生児童委員さんの橋渡しで、老人会で演奏してもらったことになった。
当日、会場は色紙で飾られ、楽しい雰囲気があった。小学3年生のかわいいお嬢ちゃん3人がせつせつと演奏し、いよいよ楽譜、紙に書いてあることを読み上げ、自己紹介の後、「練習に来てくださってありがとうございます」と声をそろえて言います。その声も、余韻がアンコールもあり、大きな拍手の中、少女たちは「次に読み聞かせをします」と本音を打ち明けた。観客、本

熊日朝刊 (R5.7.19)
在りてめぐる各々を分組して見事なチームワークで8冊読んでくれた。一人の少女の6年生の兄にその形も披露され、喜びあふれた動作に拍手がわいた。最後に「私たちの立派な小学校の校歌を歌います。耳慣れた曲を一緒に歌い、心が一つになれたように思われた。
少女たちはお礼のメッセージを書いた紙と共に、海苔で貼ったという美しい小石を配ってくれた。「ありがとう」と愛の手し、この上ない離れ合いができた。
小学3年生で自主的に取り組む力、こまごまでやるのかと感心した。こんな素晴らしい子どもたちが育つ地域をいづくことに安堵した一日だった。

土曜授業

「ふるさとを知る」をテーマに地域の方を講師にお招きし、学習活動を進めました。お世話になっている方々からの学びは、いつもと違った雰囲気、深い学習成果がありました。平和、産業、文化、食育、伝統など、学年ごとに違ったテーマでいきいきと活動したのびっ子でした。ご支援いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。



1・2年生は、児童民生委員の方々と、昔遊び「あやとり」「おはじき」「おり紙」「紙ひこうき」など、たくさん手遊び活動に取り組みました。

3年生は、地域の杉本さんを講師にお招きし、給食の材料となる精肉の流通と納品の様子についてお話を聞きました。

4年生は、協働活動推進員の和田さんを講師にお招きし、登立天満宮の伝統工芸「うそ」について学びました。

5年生は、市の産業について、市役所の松山さんを講師に迎え、上天草市の現在と未来について考える時間を過ごしました。

6年生は、学校運営協議会長の水野さんを講師にお招きし、戦争を通して平和の尊さについて考える時間を過ごしました。

学び

上天草市の「SDGs未来都市」実現に向けて本校では「のびっ子SDGs大作戦」を進めています。今回は講師(リコージャパン)をお招きして、出前講座を開きました。「なにから始める? 未来のために!」と題して、持続可能な世界を実現するための17の目標についての理解と、自分たちにできる持続可能な取組を考えました。子供たち一人一人が、日常生活を見直し、地球を元気にする自分の発見に努めていました。「のびっ子SDGs大作戦」にも拍車がかかった気がします。



えて、業種を視点に職業を見つめる活動を行いました。自分の夢が徐々に具体的になっていくことに目を輝かせていた子供たちでした。この学びは2学期も継続し、キャラクターの制作、SDGsの取組まで広がっていきます。未来を創る学びのゴールの姿が楽しみです。



のびっ子に伝えたこと

うさぎと かめ

目標の立て方
向かい方について
考えてみよう

<p>かんがえてみよう①</p> <p>どうして うさぎは かめに まけてしまったの?</p>	<p>かんがえてみよう②</p> <p>どうして かめは うさぎに かてたの?</p>
<p>かんがえてみよう③</p> <p>うさぎと かめの ちがいは なんだろう?</p>	<p>かんがえてみよう④</p> <p>かめの 目標は何か? うさぎの 目標は何か?</p>

総合的な学習の時間では「将来の夢」をテーマに職業に関する学習活動を進めています。今回は講師に元田有祈さん(株式会社ギルドヒーローズ)をお迎

のびっ子の大切
もくひょうにむかって
ともだちときょうそう
するんじゃない
もくひょうだけを
みて がんばる

のびっ子の大切
もくひょうにむかって
こつこつと...
まじめに がんばる

のびっ子の大切
もくひょうにむかって
じしんがあっても...
ゆだんしないで
せいいっぱい
がんばる